

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の結果を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや検査結果データを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 AYA 世代がんの治療と予後に関する後方視的研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 薬師神 芳洋（臨床腫瘍学講座 教授）

【研究の目的】

AYA(Adolescent and Young Adult)世代は15～39歳の人々が当てはまり、AYA世代がんは小児に好発するがんと成人に好発するがんの両方を包括します。国立がん研究センターの統計によると、日本全国では1年間に約2万名の患者が診断・診療を受けています。しかしながら、本邦におけるAYA世代がんのまとまった報告は多くありません。そこで本研究は、愛媛大学医学部附属病院にて登録された本疾患患者の病理・病態・治療法・経過・予後等を集計し、当院で診療されたAYA世代がん患者の現状と問題点を解析することが目的です。

【研究の方法】

対象患者は愛媛大学医学部附属病院において診断されたAYA世代患者約400例(目標)とします。患者の治療前後の家族構成、健康保険の種類、寛解・再発の有無、再発・増悪部位、治療に伴う妊孕性温存の有無、血液検査・病理診断の詳細、等についての情報をがん登録の資料ならびに電子カルテから利用します。また、生死、死因、最終確認日での状態等の予後についての調査も行います。以上の情報から、愛媛県内におけるAYA世代がんの臨床像、治療、予後を統計的に検討します。

なお、患者情報は匿名化され、個人情報に関する情報は一括して医学部臨床腫瘍学講座で管理します。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を削除いたします。そのため個人特定できるような情報が外に漏れる事はありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

【問い合わせ先】

愛媛大学医学部・臨床腫瘍学教室 薬師神 芳洋

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel:089-960-5969(臨床腫瘍学教室)